

家族と離れるまで、 のこり365日。

この春、高校3年生になったみなさん。

卒業まであと1年です。

部活、恋愛、勉強。

刺激的な毎日を通りながら、あたらしくはじまる未来に、きっと胸がふくらんでいることでしょう。

でも、人生にとってかけがえのないこの1年には、もうひとつ大切な意味があります。

それは、この1年が、「家族と暮らす、さいごの1年」になるかもしれない、ということ。

ひとり暮らしをはじめたら、年に数回しか家族に会えなくなってしまう。

言葉にはしなくとも、お父さんやお母さんは、きっとそのことに気づいています。

朝、「おはよう」と声をかけあうこと。 夕飯の買い出しに、理由もなくついでに行くこと。

お母さんの料理をたべて「おいしい」と言うこと。 灯りのついたお家に帰ってくること。

お誕生日に、みんなで丸いケーキを囲むこと。 たたんである洗濯物に、感謝すること。

テレビを観ているとき、お父さんと同じところで笑うこと。 たまには悩みを聞いてもらうこと。

この家に生まれてよかったと、ふとした瞬間に思うこと。

住まいをさがす、想いをむすぶ。

at home

いままではあたりまえだったことが、あと1年で終わってしまうかもしれない。

ひとり暮らしをはじめたあとに、実家のことが大好きな自分に気づく。

それでは少しだけ、遅いと思ったのです。

家族と暮らす、さいごの365日。

今日が、1日目です。

あなたは、どう過ごしますか？



夕飯が待ちきれなくて、
キッチンに顔を出す。

#家族と離れるまでのこり365日

